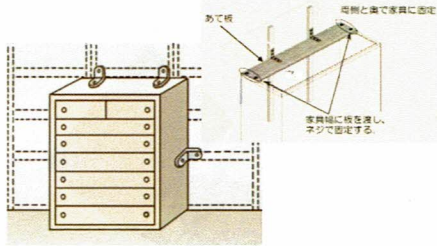


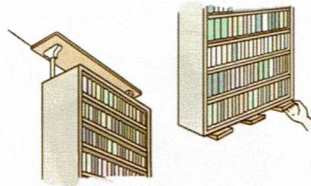
コムワンだよりからのお役立ち情報

転倒防止を図るためには家具や家電製品自体を固定することが有効です。また、家具類の配置を工夫することでケガなどの防止に繋がります。危険を減らすための効果的な方法をご紹介します。

家具類の転倒防止対策



L型金具を用いる場合は、壁の枠と家具の芯材が確実に入っている位置にネジで取付けます。家具の取付け部分が弱い場合は、家具幅の板を渡し、ネジ止めして器具を固定します。

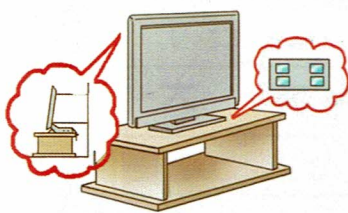


背が高い本棚のような、天井との距離が近い家具は、ポール式器具の効果が期待できます。ストップ一式と併用し、家具の上下にそれぞれ設置して固定します。

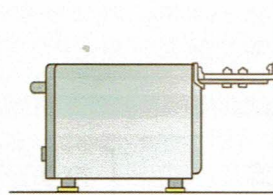


食器の飛び出しや破片の落下を防ぐため、扉には止め金具を設置します。また、扉のガラス面に飛散防止フィルムを貼ることをおすすめします。

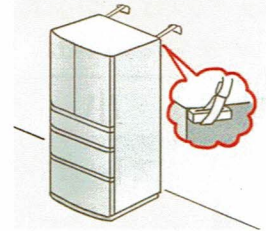
電気製品の転倒防止対策



薄型テレビなどの置き式家具は不安定です。テレビの背面と壁にそれぞれベルトを取付けて固定したり、テレビスタンドの底に粘着マットを取付けてたりして落下を防ぎます。



粘着マットやストラップを用いて電子レンジ本体を台に固定します。また、ベルトなどの器具で壁に固定することによって、効果が高まります。

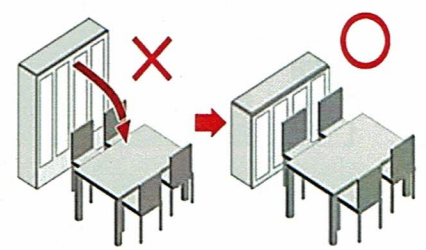
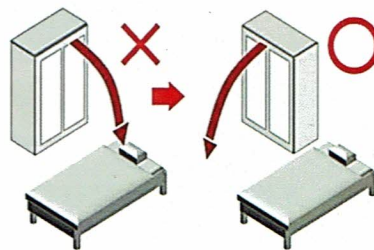


冷蔵庫のような大きな家電は事前に転倒防止策を講じておく必要があります。キャスターをロックすると同時に、冷蔵庫背面をベルトなどで壁と連結します。

部屋のレイアウトを工夫しましょう

部屋内の家具は、置き方を工夫することにより、突発的な地震で家具が転倒した場合でも、ケガなどのリスク軽減につながります。

寝室等の「寝る場所」や「座る場所」に、背の高いダンスやチェストが置いてあると倒れてきてけがをしたり、下敷きになる恐れがあります。なるべく背の低い家具を配置するか、家具を置く向きに注意しましょう。



避難経路を確保するため、出入口の周辺に倒れたり、横すべりしやすい家具を置かないようにしましょう。

